

### 3. 米国競技団体の役職員に関する分析

#### 3-1 役員および職員

##### 1) 全体

団体の役職員について、「会長・理事長 (President/Chair)」「理事 (Director)」「最高経営責任者 (CEO)」「雇用者 (Employee)」の分類で人数を調べた。「雇用者 (Employee)」の性別は、Form 990 には記載がないので不明である。また、労働基準法をはじめとする法令が異なるため、日本の雇用形態と同様ではないことに留意する必要がある。

39 団体の役職員の合計は 3,980 人であり、このうち「会長・理事長 (President/Chair)」「理事 (Director)」（2 役職を合わせて以下、役員とする）が 551 人、「最高経営責任者 (CEO)」と「雇用者 (Employee)」を合わせた職員数は 3,429 人であった（表 10）。また、「近代五種」「射撃」の 2 団体で、「最高経営責任者 (CEO)」が議決権をもつ理事を兼務している。

SSF「中央競技団体现況調査」（2015）によると、調査への回答を得た 68 団体の役職員数合計は 3,384 人であった。このうち、理事と監事が 1,390 人、理事と監事および評議員を除いた職員等は 785 人であったことから、日米における役職員数の全体数は類似しているものの、役員と職員の割合には大きな違いがあることがわかる。

表 10 米国競技団体の雇用形態別人数

(人)

種	別男	性女	性計
会長・理事長 ( President/Chair )	35	4	39
理事 ( Director )	356	156	512
役員合計	391	160	551
最高経営責任者 ( CEO )	35	4	39
雇用者 ( Employee )	-	-	3,390
職員合計	35	4	3,429
合計	426	164	3,980

性別にみると、男性役員が 391 人に対して女性役員が 160 人と、約 7 割が男性で占められている。また、39 団体のうち女性役員が存在しないのは 1 団体（「柔道」）で、8 団体（20.5%）では女性役員が 2 人以下であった（表 11）。一方、「シンクロナイズドスイミング」「フィギュアスケート」の 2 団体は、女性役員が男性役員より多く、競技の特性が役員構成にもあらわれている。

CEOを含む雇用者の1団体あたりの平均は87.9人である。ただし、人数の分布は0人から669人までその規模はさまざまである。100人以上を雇用する7団体を除くと、32団体の雇用者数は985人で、1団体あたりの平均は30.8人となる。

表 11 米国競技団体別の役職員数

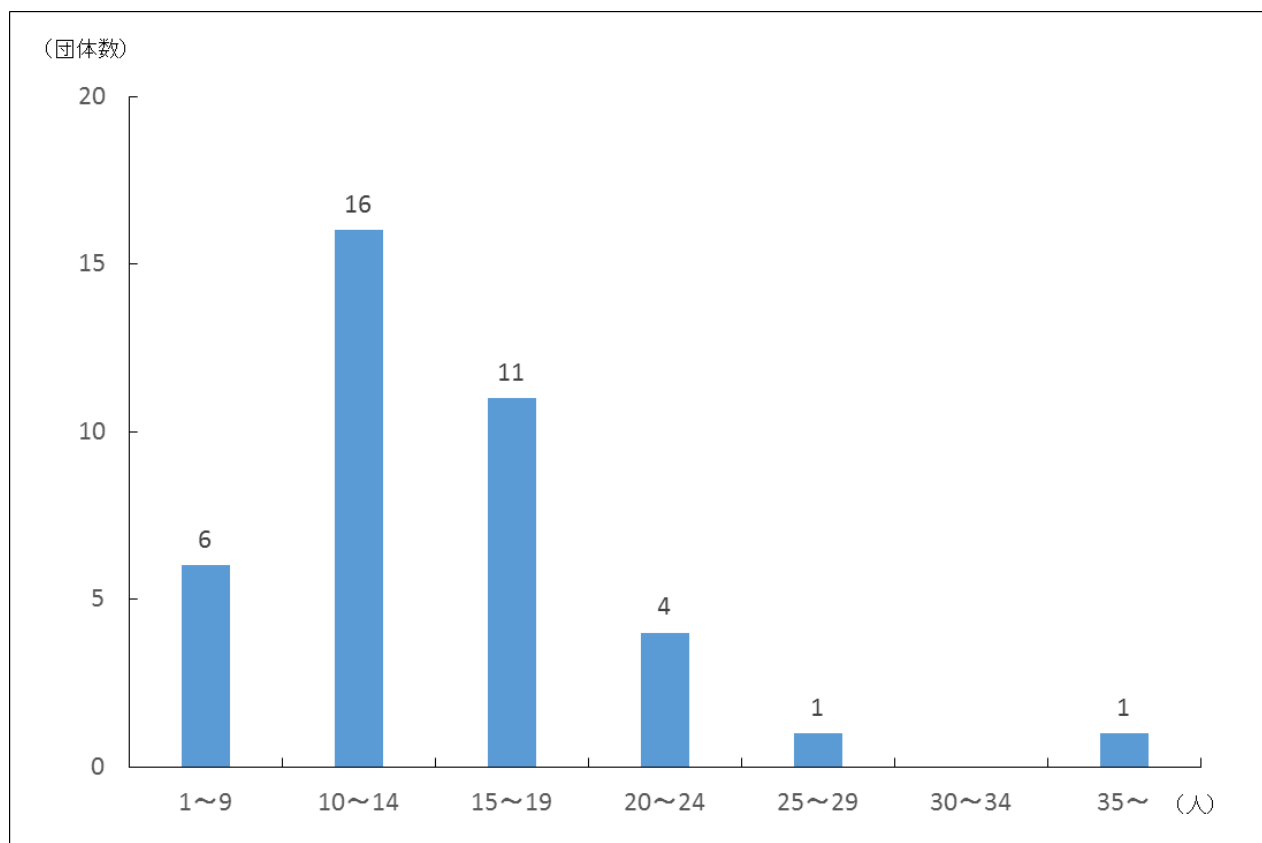
(人)

No.	団体名	会長・理事長および理事			最高経営責任者 (CEO)		雇用者数
		男性	女性	合計	男性	女性	
1	US_Archery	6	4	10	1	0	14
2	US_Badminton	4	4	8	1	0	4
3	US_Basketball	9	2	11	1	0	20
4	US_Boxing	10	1	11	1	0	17
5	US_CanoeKayak	7	3	10	1	0	6
6	US_Cycling	16	4	20	1	0	59
7	US_Diving	7	5	12	0	1	11
8	US_Equestrian	11	8	19	1	0	166
9	US_Fencing	10	5	15	0	1	19
10	US_FieldHockey	6	6	12	1	0	40
11	US_Golf	12	3	15	1	0	433
12	US_Gymnastics	13	7	20	1	0	67
13	US_Handball	6	2	8	1	0	4
14	US_Judo	10	0	10	1	0	12
15	US_Pentathlon	7	1	8	1	0	0
16	US_Rowing	8	5	13	0	1	43
17	US_Rugby	8	1	9	1	0	45
18	US_Sailing	9	5	14	1	0	55
19	US_Shooting	13	3	16	1	0	21
20	US_Soccer	12	3	15	1	0	595
21	US_Swimming	17	6	23	1	0	97
22	US_Synchro	4	12	16	0	1	8
23	US_TableTennis	7	1	8	1	0	5
24	US-Taekwondo	8	1	9	1	0	13
25	US_Tennis	12	3	15	1	0	669
26	US_TrackandField	8	8	16	1	0	85
27	US_Triathlon	10	2	12	1	0	83
28	US_Volleyball	9	6	15	1	0	77
29	US_Waterpolo	8	3	11	1	0	227
30	US_Weightlifting	7	3	10	1	0	11
31	US_Wrestling	30	5	35	1	0	45
32	US_Biathlon	8	3	11	1	0	8
33	US_BobsledSkelton	11	3	14	1	0	14
34	US_Curling	21	8	29	1	0	8
35	US_FigureSkating	6	9	15	1	0	50
36	US_Hockey	13	3	16	1	0	116
37	US_Luge	7	3	10	1	0	22
38	US_Ski	14	6	20	1	0	238
39	US_Speedskating	7	3	10	1	0	22

## 2) 役員数の分布

「会長・理事長 (President/Chair)」「理事 (Director)」の人数の分布を図5に示した。1団体の平均は14.1人であった。役員総数の最小は8人(4団体)で、最大は35人の団体まで分布していた。中央値は13人、最も多いのは10人以上14人以下の16団体であり、全体の41.0%を占めた。

図5 米国競技団体の役員数の分布 (n=39)



### 3) 雇用者数の分布

雇用者数の分布を図6に示した。CEOを含む雇用者の1団体あたりの平均は87.9人である。100人以上を雇用する7団体を除くと、32団体の雇用者数は985人で、1団体あたりの平均は30.8人となる。分布は0人から669人までと幅広く、中央値は22人、最も多いのは10~14人の6団体であり、全体の15.4%を占めた。

図6 米国競技団体の雇用者数の分布 (n=39)

